

3-10 職場環境③ 職場管理(管理業務・会議)のための時間労力(上司向け調査 Q12、部下向け調査 Q10)に関する集計結果

職場管理(管理業務・会議)のための時間と労力について、上司向け調査の結果を見れば、2項目いずれにおいても「多回答」がもっとも多かった。したがって、上司の職場認識では、会議と管理業務に費やす時間と労力に忙殺されて、職場が疲弊しているように感じられている。

同様の傾向が、部下向け調査でも見られている。2つの質問に対して、「多回答」がもっとも多かった。部下の目から見ても、会議と管理業務に使う時間と労力が、職場全体に多すぎると判断されているのである。

上司向け調査と部下向け調査で、職場管理に使う時間と労力に関する状況認識に一致が見られた。立場の違いに関係なく、職場においては会議時間が長すぎると感じられており、また些細な点に至る業務手順(マイクロマネジメント)の徹底が、長時間労働と無益な労働を生み出しているようである。

「働き方改革」の推進が叫ばれる昨今、働き方の改革は、たんに残業や長時間労働の削減という時間短縮(時短)に矮小化される筋合いのものではない。長時間労働のもととなっている会議の効率化や不要な業務手順の見直しなどの、一步踏み込んだ施策が必要となる。そのことを、上司向け調査と部下向け調査の結果が一貫して示唆している。

図 3 - 1 0 - 1

上司向け調査結果

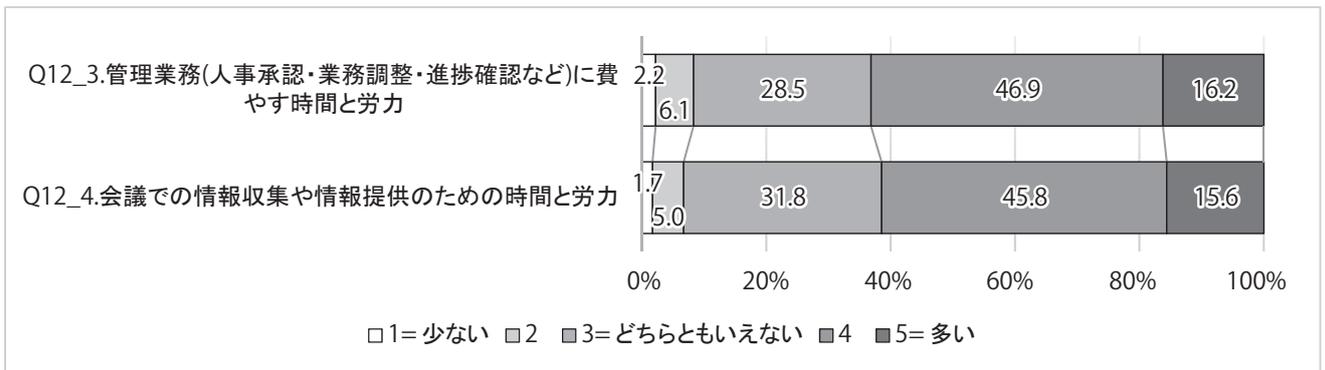


図 3 - 1 0 - 2

部下向け調査結果

